

# 中学校社会科教育 実技・理論研修会 終了報告

テーマ	博物館における子どもの主体的な学びの在り方について	
日時	令和6年8月7日(水)	
会場	北海道開拓の村	
講師	<p style="text-align: center;">細川 健裕 氏 (北海道開拓の村 学芸員)</p>	
参加者	24名	
研修会 の 様子		<p>今年度の実技・理論研修会は、北海道開拓の村の学芸員である細川健裕氏に「博物館における子どもの主体的な学びの在り方について」と題して、研修会をしていただきました。</p>
		<p>今回の研修会では、前半は、博物館における教育活動の在り方や小・中学校の利用の現状と改善点、事前学習・見学時・まとめの際の効果的なワークシートの例などを紹介していただきました。後半は、仮設検証型の学習について、開拓の村で検証できる仮説を設定した上で開拓の村の建物を実際に見学し、子どもが学習する際の視点を意識することができました。</p>
		<p>参加者からは、「子どもに思考させるための考え方を学ぶことができた」「教師の側が考えさせたい視点を明確にする必要がある」「施設見学、利用する際の事前学習の大切さを実感した」等、これまでの学習活動の取組を振り返りながら、今回学んだことを今後の学習活動につなげていきたいという声が多く聞かれました。</p> <p>多忙の中、準備を進めていただいた講師の細川健裕氏に対して出席者全員で感謝しつつ、研修会を終えました。</p>